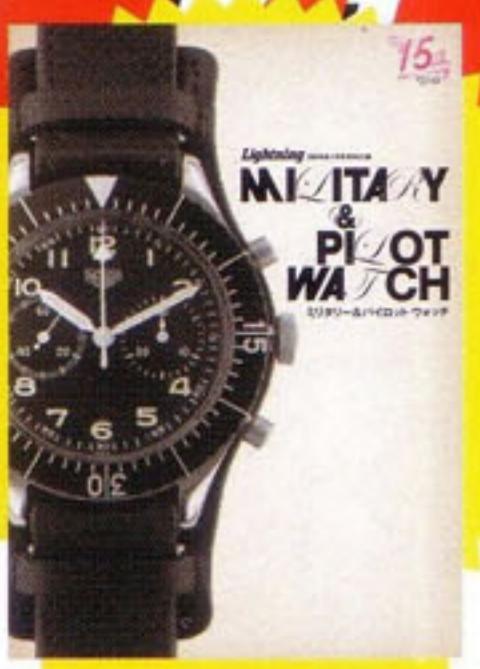


The image shows the front cover of a Japanese magazine. The title 'Lightning' is written in a large, bold, red font with a black outline. In the top right corner, there is a smaller vertical text 'ライトニング' (Lightning) in black. On the left side of the title, there is a small black and white photograph of a pilot's watch with a black dial and a black strap. The watch has several markings on its dial, including '10', '20', '30', '40', and '50'. Above the watch, there is some text that appears to be 'Lightning' and 'MILITARY & PILOT WATCH'. The background of the cover is white.

2009 Vol.177 1月号 特別定価 ¥680



小冊子

「ミリタリー&
パイロットウォッチ」
付き!!
男の高機能時計が
満載!!

The image is a collage of Japanese text and various visual elements. At the top right, the word '知れほど' (Chirehodo) is written in large, bold red kanji. To its left, the word '車' (car) is also written in red, with the brand name 'レガリ' (Regal) written vertically next to it. On the far left, the word '好き' (fond) is written vertically in red. The background consists of a blue and white striped fabric, a close-up of a car wheel, and a partial view of a person's face.

特集



第二特集 家、部屋、ガレージ… 男のインテリア学。

買って、乗れる国産旧車 Yamahenの
Check&Ride!



File#38 1972 NISSAN Skyline with RB20DET Turbo

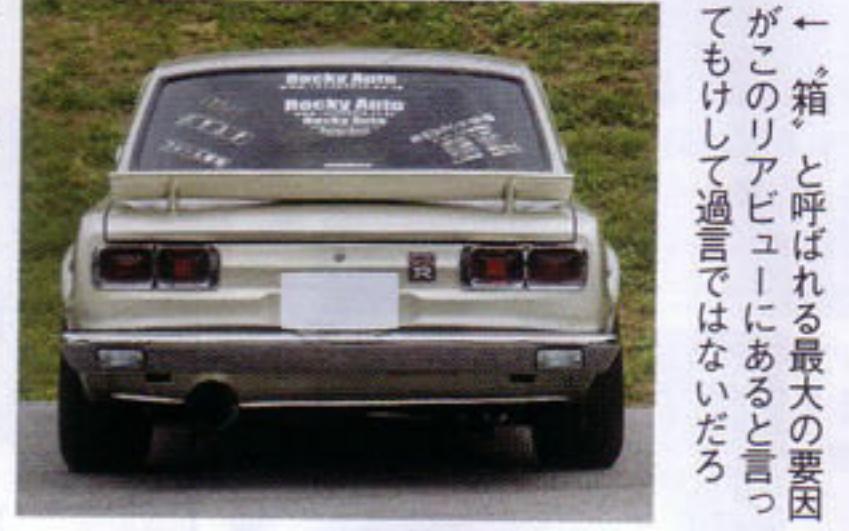
5ナンバー枠で最強!
しかも快適仕様
が嬉しい

今や特別なことではなくなった
エンジンコンバートという手法。
しかしその道のエキスパートは
そこから更に一步先を行く
素晴らしいクルマを作っている。

text/K.Yamazaki 山崎和彦
photo/T.Sakurai 桜井健雄
取材協力/ロッキーオート



↑緻密なサスセッティングによって、足回り性能の要となる前後の車高はミリ単位で調整している



↑まるでベツモハ、とはいえ当
然ながら箱スカファンがこよな
く愛する面構えはそのまま

←「箱」と呼ばれる最大の要因
がこのリアビューアにあると言つ
てもけして過言ではないだろ



↑精悍な面構えをより強調する
ディスクチャージランプ。やる気
満々な目つきがなんともいい



↑リアブレーキはフィンタイプを装備。
ホイールはワタナベの15インチでフロントが
8.5Jリアが9.5Jとなっている

↑最新機が古い味のダッシュとコンソ
ールにきつりと納まっている。このご
く自然な仕上がりが技術的に難しいのだ

↑グンッとケツを下げる加速は爽快! とにかく走っていて楽しい。ミッ
ションもRB20DETのタフなもので、デフもR200が装備されている

マつたとしても、涼しく快適なドライブが可能なのだ。
そんな事実を聞いてから、もう一度クルマの写真を見ると、なんだか車に見えてはこないだろうか? サイキット走行も真剣に楽しめるハイ

スペックと、女性でもドライブ可能な快適車両仕様が融合した昭和を代表する1台は今、フェラーリやボルシエオーナーにとっての「もう一台」としての需要が広がっていると。確かに、実際に乗ってみれば

バリバリ昭和な国産旧車に、ハイスペックな新しいエンジンをコンバートするというノウハウは、このコナーではもちろん本誌別冊の旧車専門誌「ヴィンテージオート」でも沢山紹介してきた。昔のスタイルで遊びたい、でも旧車の宿命でもある古いがゆえに否が応でもくつづいてくる様々なリスクは回避したい。そんなわがままエンスーにとって、新しいエンジンへのコンバートはトラブルばれいちゃんやっかいな部分を移植することによって、より楽しい第二人生を旧車に与えようという嬉しいプロジェクトなのだ。

さて、今月はそんだけして簡単ではない高度なプロジェクトの最先端をいく1台を紹介しよう。旧車をベースとしたハイセンセティなクルマを総合プロデュースする老舗、ロッキーオートの新作で、ニッサンファンに大人気の箱スカのハードトップに、2リッターの元気なツインカム純正ターボエンジン、RB20DETというエンジンを搭載したものだ。と、ここまで説明しただけでは「ああ、ロッキーオートが得意とする例のシリーズね」と言う旧車ファンも多いことだろう。確かに、今やロッキーオートが発信する数々のクルマ

はそのオーナーに限らず多くのファンが一つの現象として注目している。

でもこの1台はそんな中でもちょっと

と趣の異なる新作なのだ。

「エンジンをコンバートすること自体はもはや特別な存在である

んだコンセプトを展開しているんで

す!」と、広報のジョイマン澤嶋氏は言う。その内容はエンジンパワーに見合った車体剛性と足回り、ブレーキパワーの強化という基本メニューに加えて、インテリアを含めたドライバーにとっての快適性をより追求したものだ。

かくして出来上がった箱スカはまるでベツモノ。ワインディングにおいてはターボパワー全開で後頭部に血を集める加速フィールを楽しめると同時に、市街地ではシユットに加えて、インテリアを含めたドライバーにとっての快適性をより追求したものだ。もちろん温度計との間にめっこ不要。例えば、真夏に東名高速の上りをカツ飛んできて、いきなり用賀から渋谷までの大渋滞にハマることなく、車内は快適な温度を保つことができる。もちろん音楽を聞きながら窓を開めてオートエアコンのスイッチを入れ、上質な音楽を聞きながらHDDナビのガイドで渋滞路を回避しながらパワーステアリングでスイスイと目的地に到着! といったドライバーが可能なのだ。もちろん温度計との間にめっこ不要。例えば、真夏に東名高速の上りをカツ飛んてきて、いきなり用賀から渋谷までの大渋滞にハマることなく、車内は快適な温度を保つことができる。もちろん音楽を聞きながら窓を開めてオートエアコンのスイ

Yamahenの 実際どーなのよ!

これは…なんという剛性感!

近代的なツインカムターボエンジンを搭載しながらも、実際に走った感覚としては車体が勝っている。もちろん、それだけ手を加えているということであり、例によってその緻密なノウハウには驚くばかり



楽しい旧車はお任せ。



Rocky Auto (ロッキーオート)
〒444-0865
岡崎市明大寺大塚55-31
TEL0564-58-7080
www.rockyauto.co.jp

東名高速の岡崎インターチェンジを降りて5分という、関東からも関西からもアクセスが可能なショッピング。絶版車をオリジナルに忠実にレストアする高い技術を持ちながら、あえて今のニーズに合わせたコンセプトで「楽しい旧車」をプロデュースする。

快適性も見せない魅力

昭和のスポーティセダンの香りを残しつつ、しっかりとオートエアコン、パワステ、HDDナビといった装備を満載しているあたりが良い。「これ見よがし」ではなく、サラリと自然にフィットさせていることが大人の旧車ファンに高い支持を得ている

本当に女性でも乗れます!

大胆なカスミが施されていることは間違いないが、その乗りやすさは驚くほど普通。「ハコスカの衣を被った平成ライトウェイスポーツ」といってもけして過言ではない。マニュアル好きな女性にもお奨めの1台!